

# 復習シート 第六学年 国語



【目的に応じて理由をあげながら自分の考えを明確に書く問題】レベル8・9

組	
番号	
名前	

## 模範解答

- 1 生活委員会の川村さんは、安全な生活について集会で発表することになりました。全校に伝えるときに、資料を一つだけ使用することにしました。あなたなら川村さんにはどちらの資料をすすめますか。また、選んだ資料を使うことによって、どのような効果がありますか。あとこの条件にしたがって考え方を書きましょう。

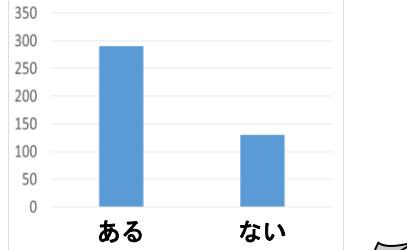
### 【資料を使う前のスピーチ】

みなさん、ろう下を走ったことがありますか。ろう下を走ることはいけないとわかついても、つい走ってしまい、危ない目にあつたことのある人もいると思います。私は先日、授業に遅れそうだったので、あわててろう下を走ってしまいました。曲がり角を曲がったしゅん間、下級生とぶつかってしましました。私は、けがをしなかつたのですが、ぶつかった下級生は、転んでしまいました。私は、けがをしなかつた私はその時ははじめて、ろう下を走ることの危険性を実感しました。私は、生活委員会として、ろう下を走らないようにするための工夫が必要だと思いました。となりの学校では、ろう下を走らないための取組をしているそうです。私は、みんながろう下を走らない安全な学校にしていきたいです。

### 【資料①】 となりの学校のろう下を走らないための工夫

- ・給食の放送で呼びかける
- ・校内にポスターをはる
- ・おたがいに注意をしあう

### 【資料②】 本校のろう下を走って、人にぶつかったことがある人



【正答例】

私は、資料①を使う方がよいと思います。

なぜなら、資料①を使うことによつて、となりの学校の工夫が具体的に分かるからです。となりの学校の工夫を参考にして、みんなが、自分の学校の工夫について考えるようになると思います。

ぼくは、資料②を使う方がよいと思う。

理由は、資料②を使うことによつて、実際に学校でどれだけ多く人が走っていて、危険な思いをしているのかわかるからだ。人数が多いことを全校が知れば、意識が変わるきっかけになると思う。

- 条件① 二段落構成で、六行以上、八行以内で書くこと。
- 条件② 一段落目には、資料①・資料②のうち、どちらの資料を使うのがよいと思うか、一つだけ書くこと。
- 条件③ 二段落目には、その資料を使用することによつて、何がどのようによくなるか（効果）を、【資料を使う前のスピーチ】の内容に触れて書くこと。

- ・条件①～③に合つてゐるか、一つ一つ確認しましょう。
- ・「です」「ます」や「だ」「である」のように、文末表現をそろえましょう。
- ・理由を書く時は、【資料を使う前のスピーチ】の足りないことに触れましょ。また、「理由は、～だからです。」「なぜなら、～だからだ。」などの表現を使いましょう。

# 復習シート 第六学年 国語



組
番号
名前

## 模範解答

【自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成を考える問題】

1

図書委員長の山田さんは、四月から七月の活動を振り返り、それを「活動報告書」にまとめ、九月の委員会活動で報告することにしました。山田さんの活動報告書を読んで、あとどの問い合わせに答えましょう。

## 【山田さんの活動報告】

### 図書委員会の活動報告(4月から7月)

図書委員長 山田

ア

1学期は、次のように活動した。

- 4月 図書室の使い方を放送・ポスターでお知らせをする。
- 5月 図書室での貸出しを始める。
- 6月 雨の日の休み時間に「紙しばい」を行う。
- 7月 1学期の反省と利用者数の集計をする。

イ

#### ●図書室の使い方を全校へ知らせる（4月）

- ・放送グループ班とポスターグループ班に分かれて準備をした。
- ・ポスターを各クラスに配布後、昼の放送を行った。

#### ●貸し出しの開始（5月）

- ・混んでしまうことが予想し、当番を増やした。
- ・スムーズに貸出しをすることができた。

#### ●雨の日の休み時間に「紙芝居」（6月）

- ・梅雨で室内遊びが増えたため、低学年に向けて「紙しばい」を行った。
- ・中学年から、紙芝居が見たいという意見があった。

#### ●反省会と利用者数の集計（7月）

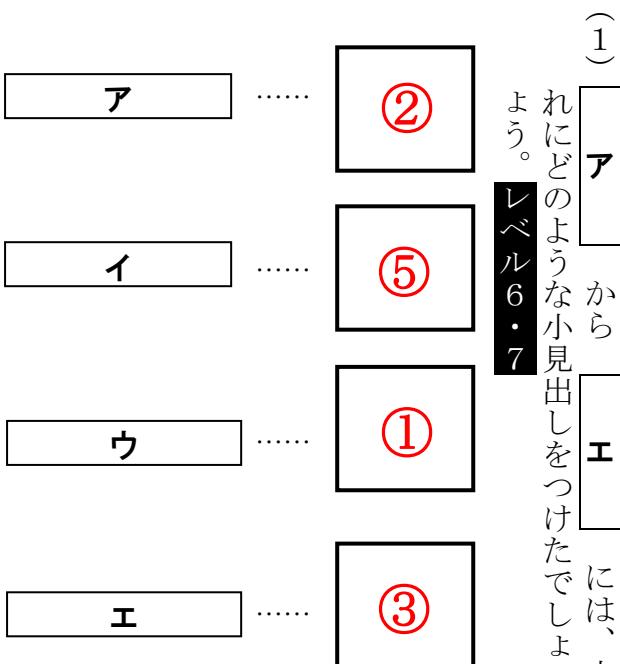
- ・反省会を開いた。
- ・1学期の利用者数を集計した。
- ・高学年の利用が少ないことが課題とわかった。

ウ

- ・大体、計画にそって活動をすることができた。
- ・協力して活動できた。
- ・反省点は、当番を忘れてしまう人がいたこと。
- ・お互いに当番を忘れないように、表などを作つて、確認をするとよい。

エ

- ・2学期は「秋の読書週間」の取組がある。
- ・高学年の利用者が増えるよう、工夫した取組を行う。



- ①活動をして考えたこと
- ②各月の活動
- ③今後の活動について
- ④活動をしてよかったです
- ⑤活動内容

小見出しが内容と合っているか、一つ一つ確かめましょう。  
内容には、どのようなことが書かれているか、よく読んでみましょう。自分でも小見出しつけて、新聞や報告書など書けるようにしましょう。